

IASBが、財務活動から生じる負債の変動の開示を要求するIAS第7号の修正を公表

注：本資料はDeloitteのIFRS Global Officeが作成し、有限責任監査法人トーマツが翻訳したものです。
この日本語版は、読者のご理解の参考までに作成したものであり、原文については英語版ニュースレターをご参照下さい。

トーマツ IFRSセンター・オブ・エクセレンス

要点

- 本修正は、IASBによる開示イニシアティブプロジェクトの一部であり、現行の財務諸表は企業のキャッシュ・フロー（特に財務活動の管理に関して）を理解することができないという投資家の懸念に対応することを意図した追加の開示要求を導入する。
- 本修正は、財務諸表利用者が財務活動から生じる負債の変動を評価することができる情報の開示を要求している。本修正は財務活動を定義していない。代わりに、財務活動がIAS第7号で使用している現行の定義に基づいていることを明確にしている。
- 新しい要求事項に従うために要求される特定の形式はないが、本修正は、企業がどのようにこれらの修正の目的を満たすことができるかを示す設例を含んでいる。
- 本修正は、2017年1月1日以後開始する事業年度から将来に向かって適用され、早期適用は認められる。企業は、古い期間における比較情報の表示は要求されていない。

本IFRS in Focusは、国際会計基準審議会 (IASB) によって公表された、IAS第7号の「キャッシュ・フロー計算書」の最近の修正を要約したものである。

なぜ本修正が公表されたか？

本修正は、IASBによる開示イニシアティブ・プロジェクトの一部であり、既存の基準における表示及び開示の要求事項を改善するためのいくつかの小規模なプロジェクトからなっている。

IAS第7号における修正の目的は、財務活動について企業が提供する情報を改善することである。

IAS第7号の修正は何か？

本修正は、企業に、財務諸表利用者が財務活動から生じる負債の変動（キャッシュ・フローから生じる変動及び非資金変動の両方を含む）を評価できる開示を提供することを要求している。

見解

IASBは、異なる利用者からのニーズに対応できる共通の定義に合意することが難しいと結論付けたため、本修正は「財務 (financing)」の定義を導入していない。代わりに、IASBは、

企業が具体的な取引が、キャッシュ・フロー計算書において財務活動として分類される（又は分類されるであろう）と結論付けた際に、財務活動の別個の開示にその分類を適用しなければならないことを決定した。

このアプローチは、具体的な事実及び状況に応じて、財務活動又は営業活動のどちらかに分類される可能性がある取引（例えば、ベンダー・ファイナンス (vendor financing) や債権のファクタリング (debt factoring) の取決め）を有している企業に関して困難である可能性がある。

本修正は、財務活動を開示するための特定の形式を規定していない。しかし、本修正は、企業が、財務活動から生じる負債について、財政状態計算書における期首残高と期末残高との調整表を提供することにより、開示目的を満たすことができることを示している。また、本修正は、企業がどのようにそのような調整表を提供することができるかを示す設例を含んでいる。

見解

審議会は、財務活動の調整表は、特定の業界（特に銀行）において、ファイナンスのす

すべての源泉の全体像を提供する際に有用ではないであろうという懸念のため、調整表は、開示目的を満たす1つの方法にすぎないことを決定した。

また、多くの企業はすでに財務活動(例えば「正味債務額の調整表」(net debt reconciliations))の開示を提供している。それらの場合に、本修正は企業が資産及び負債の変動を説明する情報を開示する際に、財務活動は別個に識別しなければならないことを明確化している。

発効日及び経過措置

本修正は、2017年1月1日以後開始する事業年度から将来に向かって適用され、早期適用は認められる。企業は、古い期間における比較情報の表示は要求されていない。

以上

デロイト トーマツ Web サイトのご案内 IFRS/国際財務報告基準(国際会計基準)

<http://www.deloitte.com/jp/ifrs/>

デロイト トーマツ グループでは、統一した高品質のIFRS関連サービスを広範に提供することを目的として、IFRSの専門家集団、「トーマツIFRS室」を設置し、Webサイトでも最新の情報発信や各種サービスの提供を行っています。ぜひご活用ください。

●デロイト トーマツのIFRSサービス

デロイト トーマツのIFRSサービスの特徴/IFRSサービスメニュー/IFRS導入の指針

●IFRSとは

IFRSの歴史/IFRSの構成/IFRSの特徴/各国のIFRS適用状況/日本及び米国におけるIFRSをめぐる動向/IFRS関連略称/日本のIFRSの動向/世界のIFRSの動向

●解説記事

IFRS基準別の解説/IFRS公開草案等の解説/IFRSと日本基準の会計基準差異/IFRS業種別トピックス/IFRS関連ニュースレター

●セミナー

IFRSセミナー/IFRSオンラインセミナー

●出版物

市販書籍/デロイトの出版物

お問合せ先 トーマツ IFRS室 Tel:03-6213-1168 E-mail:jp_ifrs_service@tohmatu.co.jp